

1. 日本再興戦略の書きぶり

第13回産業競争力会議
配布資料（抄）

(1) 目標: 健康長寿産業を創り、育てる

<主な KPI>

- ・健康増進・予防、生活支援関連産業の市場規模を 2020 年に 10 兆円(現状4兆円)に拡大する。
- ・医薬品・医療機器、再生医療の医療関連産業の市場規模を 2020 年に 16 兆円(現状 12 兆円)に拡大する。等

(2) 今後の議論の方向性(日本再興戦略抜粋)

医療や介護、保育や年金などの社会保障関連分野は、少子高齢化の進展等により財政負担が増大している一方、制度の設計次第で巨大な新市場として成長の原動力になり得る分野である。今回の戦略では健康長寿産業を戦略的分野の一つに位置付け、健康寿命延伸産業や医薬品・医療機器産業などの発展に向けた政策、保育の場における民間活力の活用などを盛り込んだが、医療・介護分野をどう成長市場に変え、質の高いサービスを提供するか、制度の持続可能性をいかに確保するかなど、中長期的な成長を実現するための課題が残されている。

2. 検討項目(例)

(1) 効率的で質の高いサービス提供体制確立

病床の機能分化推進、医療法人・社会福祉法人の合併・再編の推進 等

(2) 医療介護の ICT 化

レセプト情報を活用した予防医療や医療費適正化、医療情報連携ネットワークの全国への普及・展開 等

(3) 保険給付対象範囲の整理・検討

保険外併用療養の大幅拡大、セルフメディケーションの更なる推進 等

(4) 公的保険外のサービス産業の活性化

医療の国際展開の推進 等

※分科会の議論は年末を目途に「中間整理」を実施。